

年頭にあたって

岩美町長 榎本 武利



あけましておめでとうございます。

平成22年の新春をご家族でお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

去る11月の町長選挙におきましては、町民の皆さまをはじめ、各方面からのご支援をいただき4期目の町政を担当させていただくこととなり、あらためて責任の重さを感じているところです。

さて、昨年は、衆議院議員総選挙により政権交代が行われ、民主党を中心とし

た新しい内閣が誕生しました。新政権は選挙の際に示されたマニフェストに掲げる施策を実現するため、予算の無駄を洗い出すための行政刷新会議の行う事業仕分けや、官僚依存型政治からの脱却をめざすなどこれまでの政治の形態から大きく転換を図っています。

して町づくりを進めています。昨年は、初めての取り組みとして、町民の皆さまに予算編成の段階からまちづくりに参画していただくため、「協働のまちづくり」予算会議を開催し、ご意見やご提案をいただきました。今後、いただきます。ご意見やご提案を検討し、新年度予算編成に生かしていきます。

本町は、「人が輝き 海輝る」きらめきつづけるまち「岩美」を基本理念に掲げた第8次総合計画を策定し4目を迎え、「協働のまちづくり」・「住民が自信と誇りを持てる地域づくり」をめざ

岩美町の本年取り組む主な施策、重要課題についていくつか述べさせていただきます。

ジオパークについて

昨年の10月28日、浦富海岸を含む山陰海岸が世界ジオパークネットワークの国

内候補地に決定され、12月1日には、世界ジオパークネットワークへの加盟申請

を行いました。本年、世界ジオパーク委員による現地審査が行われ、11月頃に世界ジオパークネットワークへの加盟地域が決定されます。今後も浦富海岸の地形・地質の素晴らしさを町内外に紹介するとともに、ジオパークについて認知度を高めるため、より一層のPRやガイドの養成に取り組めます。

また、本町には、このような素晴らしい自然のほか、に岩井温泉や横尾の棚田、松葉がにに代表される美味しい海産物など全国に誇る観光資源があります。農村、漁村を活用したグリーンツーリズムなど新たな体験型観光メニューを開発し、観光振興につながるよう取り組みます。

定住対策について

本町の人口は、昭和30年の国勢調査以降、減少の1途をたどっています。

昨年は「定住人口対策プロジェクトチーム」を中心に、すべての事業を定住促進の視点から検証し、保育料の子育て世代への負担軽減、中学生のバス通学に係る定期券購入費助成、義務

教育終了までの医療費助成など「教育、子育て、健康対策等」多くの施策に反映させました。今後とも、住んでみたい町・住み続けたい町・子どもを安心して産み育てることができる町づくりに引き続き取り組みます。

